



和田圭祐=1970年5月9日生まれ。広島大学歯学部卒。名古屋大学医学部大学院で医学博士号を取得。米国ハーバード大学大学院で08年6月、歯学博士号取得。米国歯周病専門医。現在ペンシルベニア大学歯学部でインプラント学ディレクターとして教鞭をとる傍ら、インプラントの臨床研究を行っている。

アメリカ発

# 最新歯科医療レポート

Vol.03 リポーター:和田圭祐

従来のインプラント治療は、手術から実際に歯が入って噛めるようになるまで4〜6ヶ月かかりました。しかし最近ではテクノロジーの進化で、より短い期間でインプラント治療ができるようになりました。最新のインプラント手術は、前もってコンピューター上で計画し、安全で迅速に施術します。また、インプラント材料の進歩によって、インプラントを埋入したその日から人工の歯を固定し咀嚼やすくさせる方法が開発され、従来の方法と変わらない安全性が報告されています。私が臨床指導しているペンシルベニア大学のクリニックでは、これらの方法を最も新しいインプラント治療の一つとして積極的に指導しています。

## インプラントを入れたその日から歯ごたえを

以下は私が非常勤をしている新市の医院で実際に施術した症例の一部です。重度歯周病によって、すべての歯を喪失しました(右下の歯も手術時に抜歯) 写真1・2。患者様の希望で、審美性と機能性の高いインプラント療法を選択。



進化したインプラント治療

## 治療期間の大幅な短縮と安全で腫れの少ないインプラント手術

上下で14本インプラントが入りました。手術の準備としてCTを撮影し、コンピューター上で十分に予行演習をしたため、安全確実、迅速に手術できました。従来は手術後の数ヶ月間、取り外し式の入れ歯で我慢して頂いていましたが、このケースではインプラントを入れたその日から、それを土台として固定式ブリッジを装着することができました 写真3・4。手術当日から見た目の美しさや歯があった時とほとんど同じ噛み心地を味わえることが、この治療法の最大の特徴です。この後、歯の形や色など本人の希望を十分取り入れながら、数ヶ月後に最終的な歯の完成となります。

また 写真5。インプラント治療のここ数年の大幅な進歩は、人々を手術直後の入れ歯の難しさから解放し、さらに治療期間の大幅な短縮を可能にしています。

写真11



写真12



写真13

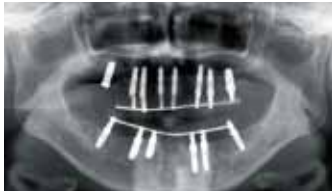


写真14



写真15



WADA DENTAL OFFICE **新市・和田歯科医院** 院長・和田 勝 アメリカ歯周病専門医・和田 圭祐  
 福山市新市町新市726-1 (ムシバゼロ)  
 — M&K インプラントオフィス福山 — **Tel. 0847-52-6480**  
 詳しくは当院のインプラント専用サイトをご覧ください <http://www.wada-implant.net/>